

## 安全データシート (SDS)

## 1. 化学品等及び会社情報

製品名	ガラス発泡リサイクル資材（製品名：スーパーソル）
会社名	ガラス発泡資材事業協同組合
住所	事務局：東京都港区三田 3-4-11 9F
電話番号	03-6436-7811
電子メールアドレス	<a href="mailto:info@supersol.jp">info@supersol.jp</a>
緊急連絡先	同上
推奨用途	土木資材・緑化資材・農業資材・建築資材・水質浄化資材・脱臭資材 防犯資材・軽量土嚢
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

健康有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
	発がん性	区分 1 B
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1（呼吸器系）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（呼吸器）

## GHS分ラベル要素

## 絵表示又はシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	皮膚刺激 重篤な眼の損傷 発がんのおそれ 呼吸器系の障害 長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器の障害

## 注意書き

安全対策	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 粉じんを吸入しないこと。 粉じんが飛散している可能性があれば、飲食又は喫煙をしないこと。
------	--

- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 応急措置 吸入した場合：大量に粉じんを吸入した場合は直ちに医師に連絡すること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合は医師の診察／手当てを受けること。  
 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。  
 皮膚に刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。  
 眼に入った場合：こすったりせずに水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 保管 通気のよい場所で保管する。
- 廃棄 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄する。

### 3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 混合物
- 化学名又は一般名 スーパーソル（ガラスびん等を粉碎焼成発泡させた軽量資材）

成分・含有量等	化審法番号	CAS 番号	含有量 (%)	PRTR 法	安衛法 通知対象	毒劇法
非晶質シリカ (※)	—	112926-00-8	71	非該当	該当	非該当
酸化カルシウム	1-189	1305-78-8	12	非該当	該当	非該当
酸化マグネシウム	1-465	1309-48-4	2	非該当	該当	非該当
炭化ケイ素	1-174	409-21-2	<0.5	非該当	該当	非該当

※シリカについては別途 X 線回折装置により分析を行い、結晶質シリカが 0.1%未満であることを確認している。

上記含有量は、蛍光 X 線分析による酸化物形態としての一つの例（炭化ケイ素を除く）である。その他に法対象外の有害性が低いと考えられる成分を 14 程度%含有する。

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 大量に粉じんを吸入した場合は直ちに医師に連絡すること。  
 気分が悪い時は医師の手当、診断を受けること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合は多量の水で洗うこと。  
 皮膚に刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

目に入った場合

目に入った場合：こすったりせずに水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤

本品は不燃である。周囲の火災の時、全ての消火薬剤の使用が可能である。

使ってはならない消火剤

なし

火災時の特有の危険有害性

周囲の火災の場合、燃焼している物質の火災時の措置による。

特有の消火方法

他の品物が燃焼している場合、本品を安全な場所に移動する。移動ができない時は、消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

取り扱いの際には適切な保護具を着用し、粉じんを吸入しないようにする。風下の人を退避させ、風上から作業する。

環境に対する注意事項

粉じんなどが河川等に排出され、環境中の生物や水質に影響を及ぼさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材・材料

周囲に舞い上がらないように湿らすなどして適当な容器に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

粉じんが極力飛散しないように散水等をしながら作業を行う。

安全取扱注意事項

取扱は換気の良い場所で行う。屋外での取扱はできるだけ風上から作業する。取扱い場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。粉じんが着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入

ったり、吸入したりしないように、適切な保護具を着用して取り扱う。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗い、うがいをする。また休憩場所には汚染された保護具を持ち込んではいない。

粉じんが飛散している可能性があれば、飲食又は喫煙をしないこと。

接触回避

情報なし

保管

安全な保管条件

通気のよい場所で保管する。

安全な容器包装材料

容器、包装の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

## 8. ばく露防止及び保護措置

炭化ケイ素

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）

日本産業衛生学会 0.1 mg/m<sup>3</sup>（繊維/ml）

米国産業衛生専門家会議(ACGIH) TLV-TWA

吸引性粉じん 10 mg/m<sup>3</sup>

吸入性粉じん 3 mg/m<sup>3</sup>

繊維状 0.1 f/cc

酸化カルシウム

労働安全衛生法濃度基準値設定物質 8時間濃度基準値 0.2 mg/m<sup>3</sup> 【2025年10月1日施行】

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）

米国産業衛生専門家会議(ACGIH) TLV-TWA 2 mg/m<sup>3</sup>

非晶質シリカ

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）

日本産業衛生学会 総粉じん 4 mg/m<sup>3</sup>

吸入性粉じん 1 mg/m<sup>3</sup>

米国産業衛生専門家会議(ACGIH) TLV-TWA 10 mg/m<sup>3</sup>

保護具

呼吸用保護具 適切な呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具 適切な保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具 適切な保護メガネ、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	固体
形状	塊状
色	白色～灰白色
臭い	無臭
融点	約 720°C (軟化点)
沸点	情報無し
可燃性	不燃
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報無し
引火点	不燃
自然発火点	不燃
分解温度	情報無し
pH	水と接触するとアルカリ性を示す (固液比 10%溶出試験、粉碎した状態で 11 程度)
動粘性率	情報無し
溶解度	水に対して不溶、強アルカリ並びに一部の酸の溶解
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	情報無し
蒸気圧	情報無し
密度	2.5 g/cm <sup>3</sup> (発泡気泡を含まない材料の密度)
絶乾密度	0.25～1.6 g/cm <sup>3</sup> (ガラス発泡体の密度)
かさ密度	約 0.2 g/cm <sup>3</sup> (容器に入れた際の空隙を含む密度)
粒子特性	概ね 75mm 未満

## 10. 安全性及び反応性

化学的安定性	通常の貯蔵・取扱いにおいて安定であると判断される。
反応性	反応性なし
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

## 1 1. 有害性情報

急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	データ不足のため分類できない
皮膚腐食性／刺激性	酸化カルシウムが濃度限界を超えるため区分 2 に該当。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	酸化カルシウムが濃度限界を超えるため区分 1 に該当。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない
皮膚感作性	データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない
発がん性	炭化ケイ素の存在が考えられるため区分 1B に該当。
生殖毒性	データ不足のため分類できない
生殖毒性・授乳影響	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	非晶質シリカが区分 3(気道刺激性)に該当し、酸化カルシウムが濃度限界を超えるため区分 1(呼吸器)に該当するので、区分 1(呼吸器系)に統合。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	酸化カルシウムが濃度限界を超えるため区分 1(呼吸器)に該当。
誤えん有害性	分類できない

## 1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
生態毒性	情報なし
残留性	情報なし
分解性	難分解と判断される
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない

### 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器・包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

### 1 4. 輸送上の注意

国連分類	国連分類の定義上、危険物に該当しない。
国連番号	なし
国内規制がある場合の規制情報	規制情報なし
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。車輛、船舶には、保護具（手袋、眼鏡、マスク等） を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備 えておく。

### 1 5. 適用法令

#### 労働安全衛生法

##### 粉じん障害防止規則

##### ラベル表示・SDS 交付義務対象物質

酸化カルシウム（令別表第 9 の 190）

炭化ケイ素（令別表第 9 の 336）

酸化マグネシウム（規則別表第 2 の 628）【2026 年 4 月 1 日施行】

非晶質シリカ（規則別表第 2 の 1568）【2026 年 4 月 1 日施行】

##### 不浸透性保護具使用義務物質

酸化カルシウム（区分：皮膚刺激性有害物質）

##### 濃度基準値設定物質

酸化カルシウム【2025 年 10 月 1 日施行】

##### がん原性物質

炭化ケイ素（作業記録等の 30 年保存対象物質）

## 16. その他の情報

## [免責]

この SDS は JIS Z 7253:2019 に準拠して作成しております。改訂日における最新の情報に基づいていますが、すべての情報を網羅しているものではありません。まだ知られていない危険有害性を有する可能性がありますので、取り扱いの際はできるだけ安全確保に努め、ばく露を避けるよう十分ご注意ください。

## 製造工場/組合員

工場名【組合員】	工場所在地	連絡先/本社
(株)イーアンドエム	札幌市西区発寒 16 条 14 丁目 6-1	011-213-9103
(有)ループ	青森県三沢市大字三沢字戸崎 101-394	0176-50-7888
(株)スパット北上	岩手県北上市和賀町後藤 1 地割 670-1	0197-62-3636
(株)ウエステック山形	山形県東置賜郡高島町大字福沢 1797-19	0238-57-3799
(有)鷺研り	福島県いわき市好間工業団地 22-1	0246-63-5173
(株)ソルク	茨城県笠間市安居下平 2717	0299-56-5381
(株)リソースイノベーション	群馬県伊勢崎市曲沢町 1214	0270-61-7711
(株)アゼリア	山梨県韮崎市穂坂町宮久保 5322-21	0551-45-6425
(株)アースクリエイション	滋賀県栗東市下戸山 327-1	077-551-2250
(株)京藤梱包運輸	京都府船井郡京丹波町蒲生蒲生野 72	075-621-5190
(有)ワコー産業	和歌山県日高郡印南町古井 52 番 1	0738-45-0205
(有)ランドベル	岡山県笠岡市港町 1-29	0865-66-1101
(株)こっこー	広島県東広島市黒瀬町小多田 16-67	0825-36-0120
(株)近澤建設	高知県吾川郡いの町大内字竹ノ内 1173-1	088-893-2330
(株)荒木セメント工業	福岡県朝倉市屋永字西原 3996-1	0942-27-1136
大坪 G S I (株)	福岡県みやま市山川町河原内 1438	0944-74-6811
(株)小林衛生公社	宮崎県高原町大字西麓 3073-4	0984-23-2429
(株)トリム	沖縄県島尻郡八重瀬町字新城 1763-1	098-998-6023